

---

# ゴリラのゴリラによるゴリラの為のゴリラ主権

とりあえず語尾にウホって付けたら何とかなるはず

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ゴリラのゴリラによるゴリラの為のゴリラ主権

### 【Nコード】

N9162Y

### 【作者名】

とりあえず語尾にウホって付けたら何とかなるはず

### 【あらすじ】

終始ゴリラです。

え？はい、ゴリラはあのゴリラです。

皆さん初めまして。

僕の名前は兎歩<sup>うほ</sup>。

さて、突然だが君達は国民主権というものを知っているだろうか。  
知らないなら調べてみよう。損は無い筈さ。

だがこの国は少し変わっている。  
なんせこの国は

「ウホッ、ウホウホウーホ」

ゴリラのゴリラによるゴリラの為のゴリラ主権なのだから。  
要するにゴリラが政治をしている。（ゴリラと言っても普通に頭  
良い）

それが今僕が住んでいる国、ゴリラリゴ。

今ではこうなってしまうているが、大昔はちゃんと人間がこの国を  
統治していたらしい。

「ウホホホ、ウーホ」

「……このまま続けても通じないな」

あつ、僕……ていうかこの国に住んでいる人間は慣れているのでゴリ  
ラの言葉が理解できます。

「ゴリ〇もーん、アレ出してよー」

「誰がゴリ〇もんだっ！！」

「ああ……いたの」

「いたわっ！！っかいなかったら誰に話しかけてたの！？」

さつきからやかましいコイツは場那。  
はぁ、ゴリラの方がまだ静かだぞ。

「ウホホー!!」

「おい場那。お前呼ばれてるぞ」

「お前もだよ!!」

……そろそろゴリラさんの台詞もまともにします。  
それより場那、うるさいぞ。

「さつきから呼んでたろウホ！早く来いウホ！」

語尾に『ウホ』が付くが仕方ない。  
だって……ゴリラだもん。

「今日は新たなゴリキング様がバナナの儀を行う日だぞウホ！」

「バナナの儀って何なんすか。アレですか。バナナをブーメランの  
ように投げて帰って来たのをバカ……じゃなくて場那の穴コイツと言う穴  
に容赦なく叩きこむ儀式ですか？」

「何気に何てこと言ってるの!？」

「惜しいウホ」

「惜しいのかよ!!」

何で僕がバナナの儀を知らないのだった？

いや、てかそんなの初めてするしね？

恒例行事みたいなノリだけど今日初めてやるからね？

「バナナの儀とは……何をやるウホかな？」

「お前も知らんのかい!!」

だって初めて行われるんだもん。  
知らないのが普通でしょ。

「まあとりあえず行ってみますか。ええっと……ゴリ蔵さん」

「今適当に言ったる。勝手にゴリ蔵さんにしただろ」

「じゃあお前は解るのか？」

「えっと……ゴリ吉さん？」

「谷口だウホ」

「『ゴリ』付かねえのかよ!!」

別に誰も付くなんて言っでなくない？  
てかいい加減黙らねえのかな。

「はあ……やっぱ僕バナナの儀サボるわ」

「え！？急にどうして!？」

「どうせつまんでしょ。てか行きたいの？」

「それは……」

「行かないウホか？じゃ俺も行かないウホ」

今更だけどこんな簡単にサボって良いのだろうか。

……何か外が騒がしいな。

「どうやらあの女優のゴリ美ちゃんが来てるらしいウホ!!」

ゴリ美ちゃん？

知らないな……可愛いのか？

「ゴリ美ちゃーんウホオ!!」

ん、大勢集まってるな、あそこか。  
さて、可愛いのかな

「皆ありがとウホ。これからよろしくウホー!」

ただのゴリラじゃねえか!!

腹が立ったからとりあえず場那の腹に一発叩き込んだ。  
あんなゴリラのどこが良いんだ!!

「僕は人間が良いんだ!!」

君達はこんな国をどう思う?

周りはゴリラばかり。

でもゴリラを舐めていてはいけないよ。  
アイツら案外強いんだって。

「……人間がいっぱいいる所にいきたい」

ゴリラのゴリラによるゴリラの為のゴリラ主権。

実際そうなら、なんて想像できないがこれだけは言える。

もう人間が居て良い領域ではない事だけは確かだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9162y/>

---

ゴリラのゴリラによるゴリラの為のゴリラ主権

2011年11月27日14時50分発行